

第4回 武豊町総合計画審議会 議事録(要旨)

日時:令和7年12月11日(木) 10:00~10:45

場所:武豊町役場 第2・3・4会議室

出席者 (敬称略) (◎=会長、○=副会長)

委員

浅野 俊太郎	武豊町教育委員会教育長職務代理
原田 時男	武豊町農業委員会副会長
福田 昌寛	連合愛知知多地域協議会
橋詰 弥久雄	武豊町商工会会長
小藤 省吾	武豊町文化協会
栗本 孝成	武豊町老人クラブ連合会会長
三厨 晴恵	武豊町スポーツ協会副会長
井上 久枝	武豊町ボランティアセンター代表
○明壁 恭子	まちづくり会議代表
青木 宏和	長尾部部長
出口 晋	大足区区長
渡邊 好文	富貴地区区長会会長
◎千頭 聡	日本福祉大学教授
岩瀬 雅哉	愛知県総務局市町村課地域振興室 兼愛知県知多県民事務所県民防災安全課担当課長
羽山 英幸	一般公募
奥村 圭子	一般公募
鳥本 靖之	一般公募
高木 正博	一般公募
田中 晴雄	一般公募

欠席者

原田 時男	武豊町農業委員会副会長
森田 広幸	あいち知多農業協同組合武豊地域担当理事代表
穂刈 正洋	武豊町経営者懇談会代表
中川 美知夫	武豊町社会福祉協議会会長
中込 理人	武豊町子ども会育成連絡協議会会長
市川 大輔	一般公募

事務局

町長、教育長、総務部長、企画部長、健康福祉部長、生活経済部長、建設部長、教育部長、企画政策課長、企画政策課長補佐、企画政策課(鳥居佑、鳥居直)、地域問題研究所(押谷)

傍聴者

0名

- ・ 会議に先立ち、事務局(企画政策課長)より、次の2点について報告があり承諾を得た。
 - ： 本会議は傍聴可能な会議であること。
 - ： 音声・写真での記録を取りホームページ・広報等で活用すること。

開会

1 会長あいさつ

○本日が4回目、最後の審議会となりました。今回は第6次武豊町総合計画の中間見直しをしたこととなります。

○本日は、パブリックコメントの結果ならびに答申書の内容を確認いただいた後、最後に町長に答申ができればと考えております。よろしくお願いいたします。

2 議事(審議)

- ・ 総合計画審議会規則に基づき、会長が以降の議事進行を執り行った。

(1)パブリックコメント実施結果について

……資料1

会長：パブリックコメントの意見と、それを受けてどのように修正したのかについて、まずは事務局から説明をいただきたいと思います。

(資料説明)

- ・ 事務局より、パブリックコメント実施結果(資料1)について説明した。
 - ：パブリックコメントの意見募集を10月8日から11月7日に行った結果、1名の方から3件のご意見をいただきました。
 - ：意見の一つ目は、分野別計画3-3. スポーツ(P96)のところで、添付されている写真が民間チームの写真でしたので、他の写真への変更をとのご指摘でした。こちらについては「ニュースポーツ教室」の写真に差し替えます。
 - ：なお、計画(案)資料では、写真の説明書きが「ニュースポーツ大会」となっておりますが、「ニュースポーツ教室」の誤りです。修正させていただきます。
 - ：意見の二つ目は、同じく3-3. スポーツの成果指標(P97)のところで、スポーツ施設の利用者数について、大会等での利用者人数は申請数であるため信憑性に欠けるのではないとのご意見、あわせて入場者数をカウントできるシステムの導入について提案がありました。
 - ：こちらについてですが、カウントシステムを導入した場合でも、同一人物の出入りによりダブルカウント等が予測されるため、大会等におけるカウントについては申請数の方をそのまま使用することとさせていただきました。
 - ：意見の三つ目は、分野別計画8-1. 住民活動・地域活動(P141)のところです。少子高齢化が進む中、住民活動・地域活動の活性化が重要となるため、個別計画の方でより具体的な施策についての表記が必要ではないかといったご意見でした。
 - ：こちらにつきましては、今後の個別計画の改定時において、住民活動・地域活動についての施策の見直しを行いますと回答させていただく予定です。
 - ：なお、パブリックコメントの結果報告につきましては、1月の広報およびホームページで公表していく予定です。

(2)第6次武豊町総合計画後期基本計画(案)について
(資料説明)

……資料2

- ・ 事務局より、第6次武豊町総合計画後期基本計画(案)(資料2)について説明した。
 - ： 計画(案)の22頁になります。(6)財政のところですが、パブリックコメント資料では2024年度(令和6年度)の数値が空白となっておりました。9月議会における決算認定を得ましたので、グラフ並びに文章の方を追記・修正しております。また、152頁のところも決算に関わる部分がありますので、同様に追記・修正しております。
 - ： 97 頁、分野別計画3-3. スポーツの成果指標「スポーツ実施率」の説明文になります。「週に1回以上スポーツを行う成人の割合」となっておりましたが、「週に1回以上スポーツを行う人の割合(15歳以上)」に修正しております。
 - ： 議事の(1)(2)についての説明は以上です。

会長： パブリックコメント結果、あわせて委員からのご指摘等を踏まえ計画案の修正点について説明いただきました。ご意見はありますでしょうか。
(意見なし)

- ： ありがとうございます。では、これを第6次武豊町総合計画後期基本計画(案)としてとりまとめたと思います。

(3)第6次武豊町総合計画後期基本計画答申書(案)の確認について

……資料3

会長： 前回の審議会で意見を募集して答申書(案)を作成し、それに対してご意見を少しいただいておりますので、どのように修正したのかについて、事務局から説明をいただきたいと思います。

(資料説明)

- ・ 事務局より、第6次武豊町総合計画後期基本計画答申書(案)(資料3)について説明。
 - ： 前回の審議会以降にいただいた修正意見をもとに、事務局と千頭会長の下で確認させていただきました。変更点を説明いたします。
 - ： 一点目は、項目3の2行目に、「様々な文化的体験による心豊かなまちづくりの推進や」の文章を追加しています。
 - ： 二点目は、もともと項目3の方に記載しておりました、区や地域活動等の推進に係る文章を、項目4の冒頭部分に移し記載しております。
 - ： 三点目は、項目5になりますが、町長のリーダーシップに関する箇所を、「部署間の隔たりを超え、」という表現に変更しております。
 - ： いただいた意見をもとに、軽微な修正は加えておりますが、大きな変更点は以上の3点です。

会長： この内容で答申することについて、ご意見があればいただきたいと思います。いかがでしょうか。

委員： 項目2の2行目で、「持続的な行財政運営を行うため、業務のデジタル化やDXの推進等の行政改革を積極的に進めること。」とあります。前半には「行財

政運営」とあるのに、後半を「行財政改革」ではなく「行政改革」としたのは何か意図があるのでしょうか。

事務局：表現を合わせ「行財政改革」とします。

会長：項目5の2行目の冒頭になります。「行政は部署間の隔たりを超え」となっていますが、隔たりがあることが前提となっていて、「隔たり」という言葉が気になりました。「枠を超えて」とか「枠組みを超えて」といった表現の方がよいのかなと思いました。

事務局：そうした意味にもとらえられるかと思います。「垣根を超え」とかもあるかと思います。

委員：「枠を超えて」の方がよいと思いました。

会長：「行政は部署の枠を超え」と修正することでよろしいですか。事務局もよければ修正したいと思います。

委員：項目4の冒頭部分は、「区や地域活動等の重要性を周知し、人と人との繋がりを強めていくための施策を推進」とあります。

：町から仕事をお願いされている区の活動、言葉は悪いのですがいわば下請けのような仕事が見直されて、人と人との繋がりを強めていくための活動にシフトしていく、何十年と続いているような仕事の見直しがされてアップデートされていく、そうした意味がこの文章に込められていると理解してよろしいでしょうか。

会長：ここの文脈は両方あると思います。区や地域活動等の重要性をちゃんと認めているという表現にもなっています。

：区の活動でご苦労されておられる立場の委員、いかがでしょうか。

委員：区の会員数はかなり減少してきているのは事実です。年を取って区から抜けていく高齢者も多くなっています。ただ、高齢化が進んでいくと、近所の付き合いはより重要になると認識しています。区として大きな事業はやれませんが、区民同士を繋げていくことを続けていきたいと考えています。

委員：新しい枠組みを考えていけないといけない時期には来ているように思いますが、答申書での表現としてはこのあたりが限界ではないかと思います。

会長：区が単なる行政の下請けになってはいけないというご指摘がありました。そして、人と人との繋がりを強めていくことが大事だということがあります。

：人と人との繋がりを強めていくためには、それを全部行政だけが町民に対してやっていくということではなくて、区の仕事として区民同士の繋がりを強めていく、そうした区の役割もあるとのご発言であったと思います。

：この2行にそうした意味も含まれているという理解でよろしいでしょうか。

委員：おかしいなと思っている仕事も何十年続けています。例えば、区や団体の寄付や支援金とか、それを一口500円が目安と書いて区が集金を行っている。そうした業務を区がやっている。

：中には、やめた区もあればやり方を変えた区もあります。そうした情報を取りに行って、現時代的なやり方にアップデートすることは必要ではないか、そう

という意味で意見いたしました。

会長：今のやり取りはしっかりと議事録には残させていただいた上で、総合計画の答申としてはこのままとさせていただいて、同時に、地域自治の分野で、今後の区がどうあるべきか、担当のところで区の方々と議論していただくということで対応したいと思います。お願いいたします。

委員：先ほどの、「行政は部署の枠を超え」についてですが、「枠を超え」も隔たりがあることを前提とする表現だと思います。ある部署にお話に行くと、すぐに他の部署と連携する機会が多いので、たぶん、よその市町より武豊町は親切かと思ったことがあります。

：その点を踏まえて、「行政は部署間の連携をより深め、」と、今でも連携はあるのだからより深めていく、今、頑張っているところも評価した表現にしてはどうかと思いました。その方が前向きに進んでいけるかと思いました。

会長：「行政は部署間の連携をより深め、」としてはとの提案をいただきました。いかがでしょうか。うなずいていただきましたのでそのように改めることいたします。

：繰り返しになりますが、答申書はもちろんのこと、議事録も議論のプロセスとして尊重していただくようお願いしたいと思います。

：その上で、本日の議論で改めた部分を修正して答申書とすることでよろしいでしょうか。

(異議なし)

：では、これをもって答申書といたします。

－ 休 憩 － (答申の準備のため(約10分))

3 答申

事務局：審議会を再開します。

：会長より町長の方に答申をお願いいたします。

(会長より町長へ答申を読み上げ)

会長：意見が5点ございます。よろしくお願いいたします。

4 町長あいさつ

町長：日ごろから町政全般に、深いご理解とご協力を頂いておりますことに、心よりお礼を申し上げます。

：会長、副会長を始め、審議会委員の皆様には、大変ご多用の中、本日まで4回にわたり、後期基本計画のご審議をいただき、感謝申し上げます。

：本町は現在、人口減少に加え、物価高騰、DX等、目まぐるしく変化する環境の中にあります。これまでどおりの行政運営では、これまでどおりの行政サービスを維持することすら難しい時代になってきたのではないかと感じていま

す。

- ： こうした時代に対応すべく、総合計画の見直しを進めてきた訳ではありますが、委員の皆様方からは、こども、スポーツ、健康、DX、防災、協働のまちづくりなど、各般にわたる貴重なご意見をいただきました。本日の答申内容は、計画とともに庁内で共有し、総合計画の目指す将来像「心つなぎ みんなでつくる スマイルタウン」の実現に向け、行政一丸となって推進していく所存であります。
- ： しかしながら、総合計画の推進にあたりましては、行政だけでなく、町民と行政が一体となってまちづくりを進めていくことが、本当の魅力あふれるまちに繋がるものと考えております。
- ： 今後とも、委員のみなさまには、多方面におけるまちづくりにご参画をいただき、ご指導を賜りますよう、お願い申し上げまして、私からのごあいさつとさせていただきます。ありがとうございました。

以上 10:45 了